

〈今号のテーマ〉

**あたらしいとりくみ**  
 ～地域共生社会をめざして～

**Vol.32**

2022年5月発行



**コミティ目向(ひなた)**  
**ええん/だんごむし/ありんこ**  
**浜木市学習・生活支援事業&みしま楽習塾**  
**CSW/ちよい(choi)**  
**地域交流促進・相談機能強化事業**  
**休眠預金活用事業「ひと・まち・元気委員会」**

# あたらしいとりくみ～地域共生社会をめざして～

日頃は M-CAN の活動に、ご理解・ご協力いただきありがとうございます。  
 M-CAN Juice 32号のテーマは「あたらしいとりくみ～地域共生社会をめざして～」です。コロナ禍にあっても、M-CAN では、さまざまな新しい活動を模索し、ニーズに合った取り組みを考えています。

今回は、各事業のそんな取り組みについて、まとめてみました。ご興味のあるものがございましたら、どんどんお問い合わせ・ご参加ください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 地域交流促進・相談機能強化事業

地域交流促進事業として、愛センターにおいて「ほっと・ふれあいラジオ体操」と「ふれあいの囲碁・将棋」(毎週水曜日)を実施しています。



今年度からの新たな取り組みとして、月に一度、ラジオ体操の後に「健康ミニ講話」を実施することになりました。東保健福祉センターの保健師・栄養士・歯科衛生士・精神保健福祉士の方々に講師として来ていただき、専門の知識で地域の皆様の健康意識を高めていただくと共に、地域での交流の場として日頃の疑問や困りごとへの相談も承ります。ご参加お待ちしております。



## NPO 法人 M-CAN 入会のお誘い

三島コミュニティ・アクションネットワーク 愛称 M-CAN(ミカン)は、三島地域の助け合いの仕組みとして組織され、今では安威川東部エリアにおける福祉の拠点として位置づいています。

コミュニティデイハウス「日向(ひなた)」や在宅親子のつどいの広場「こえんひろば」など、地域福祉にこだわった事業を展開し、「共生のまちづくり」など、住民一人ひとりが輝いて生活できる仕組みづくりを目指しています。

M-CAN では、設立主旨を理解いただき、一緒に「まちづくり」「地域福祉」を創っていく方を募集しています。

- ① 個人正会員(年額) 5,000 円(一口)
- ② 団体会員(年額) 10,000 円(一口)
- ③ 賛助会員(年額) 3,000 円(一口)

会員には情報誌「M-CAN Juice」をお届けします。また、M-CANが実施する様々な行事の案内や事業活用がおこなえます。

個人・団体会員については、総会での「議決権」が保障され、M-CAN の意思決定に参画することができます。



NPO 法人 M-CAN(ミカン)まで、お気軽にお問い合わせください。



M-CAN Juice Vol.32




2022年5月25日発行



印刷: 株式会社プリントバック

デザイン: WoodVillageFactory WVF

## 休眠預金活用事業「ひら・まち・元気委員会」

休眠預金を活用した助成事業「三島 ひと・まち・元気支援事業」に取り組んでいます。

- ① 毎週火曜日の13時～16時の三島丘府宮住宅(旧)集会所での「相談所の開設」をしています。(「三島・らくらく亭」とも共同して取り組んでいます)
 
- ② 48時間玄関ドアの開閉がなかったらブザーが鳴る「安心見守りドアセンサー」の設置を進めています。
 
- ③ 三島地域の情報を携帯アプリ「LINE」を通じて発信しています。(M-LINE-net)
 

↑ 友だち登録はこちらから!
- ④ 認知症徘徊時の発見や緊急時に「見守りキーホルダー(救急 QR)」を無償貸与しています。発見時どこで発見されたのか自動でお知らせする機能もあります。
 
- ⑤ ミニ FM 放送「ピクシーダスト三島丘局」での地域情報の発信をしています。(毎週土曜日14時～30分程度)
 
- ⑥ 緊急避難の際にも携帯できる「携帯ラジオ」の無償でお貸ししています。
 

なお、地域見守り券「みしまーる(50 円相当)」の発行・運用や食材、生活用品、衣類や家財などの『おゆずり』活動(おたがい様プラザ)の地域活動とも連携しています。

## いきいきネット相談支援センター【CSW】



この地域を担当します瀬戸口です。

生活の中で色々な悩みごとがあり、どこへ相談に行けば良いのか分からないなどの不安やお困りごとのお話をうかがい、解決に向けて一緒に考えさせていただきます。

気軽に御連絡ください♪



# コミュニティハウス 日向(ひなた)

日向は、利用者さんの要望にお応えするべく、常に新しい事に取り組もうとしています。

まず、タブレット・スマホ教室を始めました。日向スタッフが初めて触る方や難しそうと抵抗がある方にも面白さが伝わる様に優しくゆっくりと進めていて、好評を得ています。

次に、コロナ禍によりずっと自粛していたお出かけを再開しました。外食はまだ出来ませんが、4月は電車に乗り長岡天満宮に行きました。皆さん満開の桜に感激されて「行って良かった」と言っていただきました。

他に、手芸や麻雀、ちぎり絵、フラワーアレンジメント、介護予防教室などの自由で楽しんでいただいています。「今日も日向に来て楽しかった。」という声を聞きたくて日向は頑張っています。



あたらしいとりのくみ



## プレようちえん ありんこ

週一回では、物足りないなあ...というママの声が多数あり、週二回通えるように、水曜クラスができました♪ 少人数クラスなのでゆっくりとした時間を過ごしたり、チューリップ公園やうさぎ公園、ライオンズ公園などいろんな公園に出かけています。



## 学習・生活支援事業 みしま楽集塾

2022年度も、ボランティアや学校の力を借りながら、中学生の学習支援や居場所づくり、保護者支援に取り組みます。楽しいイベントを取り入れながら、意欲的に参加できる場にしたいと思います。

小学生のみしま楽集塾は、毎週水曜・木曜に開催します。引き続きよろしくお願ひします。

2022年度 地域子ども学習支援事業  
「みしま楽集塾」募集のお知らせ

★5月11日(水)からはじまります。

日 時：毎週水曜・木曜  
場 所：みしま楽集塾  
対 象：5年生～中学生  
定 員：20名  
参加費：無料  
申込先：みしま楽集塾  
お問合せ：TEL 624-5050 / FAX 624-5080

お名前	年齢	性別	住所	電話番号

※お申し込みの際は必ずお名前と住所を記入してください。

地域共生社会をめざして

## こえんひろば・だんごむし



ひろばに来られる多くの親子ははじめての出産、育児をコロナ禍で経験されています。コロナ以前は自然とできていた子育て親子どうしの交流や自分以外の子育てのやり方を知る機会が少なくなり、多くの親は子育てで悩み、やりづらさを抱えながら子育てしています。



そのため、こえんひろばでは意図的に子育て親子の交流やピアサポートな関係作りをしています。その取り組みが「わいわい子育てトーク」「赤ちゃんがきた!～親子の絆作りプログラム～」です。この取り組みをする事で参加者どうしが支えあい、子育てで孤独を感じない環境作りをしています。



今年度からは平日はお仕事などの理由でひろばを利用できない親が土日祝にひろばを利用し、子育て講座を受講できる取り組みとして月2回「休日のこえんひろば」を開催しています。

参加者どうしの関係作りや父親が子育ての知識を学んだり、子育てのスキルアップできる取り組みをしています。

月1回はパパが継続して参加できるプログラムで、パパ友作りやこの地域で安心して子育てができる様にお手伝いをしています。コミュニティーcaféで地域の人もこの取り組みを応援してくれています。

一時預かり事業「だんごむし」はちょっとホッとした時に気軽に利用して貰えるように利用者さんのニーズに合わせて取り組んでいきます。



ユースプラザEAST

ちょい(choi)

ユースプラザ EAST「ちょい(choi)」では、M-CAN / 地域協 / ゆるボラの会との共催で「Pixie(ピクシー)食堂」として毎週土曜日、お昼ごはんの提供(食事支援)を行っています。

対象はユースプラザの利用者に限らず、「小学生や保護者」、「地域のみなさん」としており、幅広い方に食べていただけるよう配慮しています。

生活に課題がある、独りでさびしいなどといった方。ご遠慮なくご利用ください。待ってます。(食事代:無料)

